

ピースボート地雷廃絶キャンペーン P-MAC 2016 年度活動報告書



ピースボート地雷廃絶キャンペーン P-MAC とは

地雷廃絶を目指し、NGOピースボートのプロジェクトとして1998年に設立しました。平和、人権、環境、国際交流などをテーマとしたピースボートの地球一周クルーズで、カンボジアや旧ユーゴスラビアなどを訪れ、深刻な地雷被害の状況を知ったことが設立のきっかけです。世界では、2015年の1年間で6,400人以上が地雷や不発弾による被害にあいました。たとえ戦争が終わったと報道されていても、その地域に暮らす人々にとって、地雷がある限りまだ戦争は終わっていません。P-MACは発足以来、地雷廃絶を目指して、地雷除去や被害者への支援、地雷問題を伝える活動を続けています。

カンボジアから地雷をなくそう 100 円キャンペーン

地雷除去には膨大な時間と労力がかかります。しかし、地雷除去にかかるコストは1㎡あたり約100円です。そこでP-MACでは、募金活動「カンボジアから地雷をなくそう100円キャンペーン」を展開しています。集まった募金は現地地雷除去団体「CMAC（カンボジア地雷対策センター）」へ送り、地雷除去がおこなわれています。

2016 年度 100 円キャンペーン募金報告

【募金総額】

2016 年度の募金総額 ￥1,001,672-

2015 年度より繰越金 ￥2,736,844-

合計 ￥3,738,516-

【上記の募金は以下のプロジェクトに使用しました】

スナハイ村小学校建設 ￥3,097,118-

次回へ繰越 ￥ 641,398- (2017 年度におこなうスナハイ村のさらなる地雷除去にあてます)

合計 ￥3,738,516-

支援をおこなったスナハイ村について

カンボジア北部、タイ国境に面したプレアヴィハ州に位置するスナハイ村は、カンボジア内戦中の1986年から1989年まで軍事基地となり、激戦地となったため、今も多くの地雷や不発弾が残っています。

その後はジャングルとなっていたこの土地に、農地を持たず貧しい生活をしてきた人々が各地から集まり、2005年にスナハイ村が誕生しました。人々が移住した後に、村の多くの土地が地雷原だと判明しました。しかし人々にとって、スナハイ村は地雷が埋まっていようとも、ようやく手に入れた自分たちの土地であり、希望の村です。P-MACは、人々が安全に暮らせるように、2010年以降、スナハイ村の地雷除去支援を進めています。



写真 上：地雷原を示す看板がたてられている
下：スナハイ村訪問の際、会いに来てくれた村人たち

全ての子どもが学校に通えるように！

P-MACは、小学校を建設してほしいという村からの依頼を受け、2015年には小学校のために約7万㎡の土地の地雷除去を支援しました。地雷除去活動は現地地雷除去団体「CMAC（カンボジア地雷対策センター）」により実施されました。そして、2016年にはその土地に小学校を建設しました。新しい学校は「ピースボート・スナハイ小学校」と名付けられました。

地雷除去が終了した土地に3つの教室がある校舎とトイレを建設し、教室内の机とイス、黒板も作成しました。新学年がはじまった2016年11月1日より、スナハイ村の子どもたち228人が、この新しい小学校に通っています。カンボジアの学校は二部制のため、1～6年生が午前と午後に分かれて、学校で学んでいます。校舎の前には広い校庭があるため、子どもたちは地雷や不発弾の心配をすることなく、ボールで遊んだり、走り回れるようになりました。

これまでスナハイ村にあった学校は、お寺の敷地を借りて建てられた小さな教室が2つしかありませんでした。教室に座りきれない子どもたちは立って授業を受けたり、通うことができない子どももいました。新しい学校ができたことですべての子どもが安心して通える小学校が誕生しました。

< 小学校建設報告 >

場所： カンボジア プレアヴィヘア州スナハイ村
 Sna Pha Ek Village, Srayong Commune, Kulen District, Preah Vihear Province
期間： 2016年6月7日～2016年10月25日
費用： 3,097,118円 (27,791.8米ドル)
支援内容： 3教室の校舎、教室内の机と椅子、黒板、トイレ3室、国旗掲揚台、校門、フェンス



写真 上：小学校の校舎と校庭
下：生徒全員が席について授業を受けられるようになった

「ピースボート・スナハイ小学校」開校式を開催

2016年8月に出航した第92回ピースボート「地球一周の船旅」でカンボジアの地雷問題を学ぶスタディーツアーを実施しました。ツアーの中でスナハイ村を訪問し、8月27日に開校式をおこないました。ピースボートからは学校建設のための募金活動に参加したボランティアスタッフをはじめとする37名が参加し、村人と地雷除去団体「CMAC（カンボジア地雷対策センター）」のスタッフをあわせた約300名が、開校を祝いました。

代表者によるテープカットの後、スナハイ村長、ピースボートの代表者、CMACの代表者がスピーチをしました。また、CMACから子どもたちにノートが手渡され、ピースボートからはサッカーボールをプレゼントしました。その後は、安全になった学校の校庭で子どもたちとサッカーや折り紙などをして交流をし、記念植樹として校庭に20本のマンゴーの木を植えました。

校舎の建設は、雨や村までの道路状況が悪いため工事が遅れ、開校式当日には完成していませんでしたが、2016年10月にすべての建設工事が終了しました。



写真 上：子どもたちにスピーチするボランティアスタッフ
下：みんなで校庭にマンゴーの木を植える

カンボジアで支援を続けるコーケー小学校の補修工事が完了

P-MACは2005年にカンボジア北部にあるコーケー村の地雷を除去して小学校を建設し、今では約150人の子どもたちがこの小学校に通っています。学校完成後も何度もコーケー小学校を訪れ、子どもや村の人々と交流し、周辺の地雷除去支援や教育支援を続けています。

コーケー小学校は、内戦後村にできた初めての小学校ということで、村の人たちが大切に使ってきました。しかし、長年の雨風やシロアリの影響で柱が老朽化し、倒壊の危険がありました。「このままでは、教室内に屋根が倒壊するおそれがある」と校長先生から報告を受け、2017年1月に校舎の補修工事をおこないました。

補修費用については、P-MACの活動に継続的にご協力いただいている社会人バンド「メロメ」のみなさまからもご寄付をいただきました。現地での補修手配は、コーケー小学校で教育支援をおこなう現地NGO「Ponheary Ly Foundation」にご協力いただき、必要な木材は村から提供を受けました。多くの方々のご協力により安全になった小学校に、今は子どもたちが元気に通っています。



写真 上：工事中の小学校
下：補修工事後の教室

カンボジア王国から「カンボジア王国友好勲章」および「ソワタラ勲章」を受章

P-MACは、これまでに1.5平方キロメートル以上の土地の地雷除去を支援し、その結果約900個の地雷と不発弾が処理されました。また、小学校4校と保健所1棟の建設も支援しました。除去後の土地は学校や保健所の他、農地や住宅地など、人々が安全に暮らすことができるよう、最も必要な用途に使われています。

これまでの支援を評価いただき、P-MACと、これまで街頭募金活動を続けてきた全国のピースボートセンターが「カンボジア王国友好勲章」を受章しました。この勲章は、カンボジアの復興に貢献した外国人に授与されるものです。また、ピースボート共同代表の吉岡達也とピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MAC事務局長の森田幸子が、農業分野に貢献した個人に贈られる「ソワタラ勲章」を受章しました。

勲章の授与式は2016年8月24日、プノンペンにある「CMAC（カンボジア地雷対策センター）」の本部でおこなわれ、カンボジア政府を代表してCMACのヘン・ラタナ長官より、メダルが授与されました。長官は「CMACはカンボジアの復興のために地雷除去を長年進めてきました。この活動には世界の多くの国々の協力が必要不可欠で、ピースボートの貢献も大きなものです」と語り、感謝の言葉をいただきました。

授与式の様子は、現地テレビ局のCambodia News Channel(CNC)とBayon TV、およびRasmei Kampuchea新聞で報じられました。



写真 上：CMACのヘン・ラタナ長官からメダルを授与される
下：授賞式後にCMAC本部前で記念撮影

「カンボジアから地雷をなくそう 100円キャンペーン」街頭募金

全国5カ所のピースボートセンター（東京、横浜、名古屋、大阪、福岡）で街頭募金活動をおこない、カンボジアの地雷除去支援に充てています。2016年度は全国で合計81回の街頭募金活動をおこないました。



カンボジア地雷問題検証ツアー

ピースボート地球一周の船旅において、カンボジアの地雷除去現場の視察や地雷被害者との交流、地雷除去を支援した村を訪問するスタディーツアーを実施しています。2016年度は、第92回ピースボート「地球一周の船旅」内においてツアーを開催し、35名が参加しました。



なんだろう地雷出前教室・勉強会

地雷問題を多くの人々に知ってもらおうと出前教室や勉強会を実施しました。

勉強会「わたしがつくるHAPPY! カンボジアの女性障がい者と共に」（2016年4月）／東京都町田市立真光寺中学校で「なんだろう地雷出前教室」（2016年7月）／報告会「アンコールワットだけじゃないカンボジア〜私たち、地雷原だった場所に学校を建てました〜」（2016年10月）／東京都町田市立堺中学校で「なんだろう地雷出前教室」（2017年3月）／修学旅行生などの訪問学習受け入れ（通年）



イベントへのブース出展

2017年2月におこなわれた国際協力のお祭り「ワン・ワールド・フェスティバル」（大阪）にブース出展し、100円キャンペーン募金への協力呼びかけや地雷被害者が作成したグッズの販売をおこないました。



地雷除去、地雷被害者支援をおこなうP-MACへのご協力をお願いします

皆さまからいただいた募金は地雷除去・被害者支援などの地雷廃絶活動に使わせていただきます。

郵便振替口座 00130-3-557600

ゆうちょ銀行 ゼロイチキユウ店（〇一丸店）当座 0557600

加入者名 ピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MAC

ピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MAC 2016年度活動報告書

発行：ピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MAC

編集：森田幸子 発行日：2017年6月28日

[お問い合わせは下記までお願いします]

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1

TEL：03-3363-7561 FAX：03-3363-7562

E-MAIL：pmac@peaceboat.gr.jp

URL：http://peaceboat.org/projects/pmac